

### セカンドオピニオン外来相談対象専門領域・担当一覧表

外来名 (相談を受けられる疾患・領域)	担当医氏名	対象疾患など
<b>総合診療部</b>		
コーディネイテッドケア (総合診療) セカンドオピニオン外来	阪井裕一 (部長) 小穴慎二 (医長)	内科系・外科系を問わず複数科にまたがる病態について、総合的な視点から対応します。
在宅ケア セカンドオピニオン外来 (特に医療機器、 技術に依存する場合)	阪井裕一 (部長) 小穴慎二 (医長)	胃ろうや気管切開など医療機器、技術に依存する在宅ケアに関して、総合的な視点から対応します。
<b>器官病態系内科</b>		
循環器疾患 セカンドオピニオン外来	賀藤 均(部長)	対象疾患は、先天性心疾患、不整脈、原発性肺高血圧症、心筋疾患など小児の循環器疾患全般を扱います。心エコー検査所見、心電図、胸部X線写真などの資料がありましたらお持ち下さると助かります。
消化管・栄養 セカンドオピニオン外来	新井勝大 (医長)	炎症性腸疾患 (クローン病・潰瘍性大腸炎)、難治性下痢症、体重増加、胃食道逆流症、消化管出血などの消化管の病態とそれに伴う栄養管理全般を対象とします。乳幼児を含む小児の内視鏡検査についてもご相談ください。
肝臓疾患 セカンドオピニオン外来	伊藤玲子 (医員)	小児期の肝疾患全般を対象にしています。乳幼児の胆汁うっ滞性肝障害、ウイルス性肝炎など、小児の肝疾患全般についてご相談ください。
小児呼吸器疾患 セカンドオピニオン外来	川崎一輝 (医長)	子どもの呼吸に関する多くの症状や疾患について (詳細は当センターホームページの呼吸器科の項をご参照ください)
運動異常症 セカンドオピニオン外来	久保田雅也 (医長)	ジストニア、ミオクロヌス、振戦などが全身性、または局所性に起こる疾患の鑑別、診断、治療。伝達物質病 (瀬川病、AADC欠損症など)、代謝異常、脳炎・脳症後遺症などでんかん発作と区別しにくい不随意運動、不随意姿勢を呈する疾患が対象になります。
小児腎臓疾患 リウマチ疾患 小児膠原病 セカンドオピニオン外来	伊藤秀一 (医長)	腎臓疾患 (ネフローゼ症候群、慢性腎炎、慢性腎不全、腹膜透析療法、腎移植、その他腎疾患全般) リウマチ・膠原病疾患 (若年性特発性関節炎、全身性エリテマトーデス、皮膚筋炎、原因不明発熱、その他リウマチ・膠原病疾患全般)
小児腎臓疾患 セカンドオピニオン外来	亀井宏一 (医員)	腎臓疾患 (ネフローゼ症候群、慢性腎炎、慢性腎不全、腹膜透析療法、腎移植、その他腎疾患全般)
遺伝性疾患 セカンドオピニオン外来 染色体異常 セカンドオピニオン外来	小崎里華 (医長)	さまざまな先天異常・稀少疾患 (遺伝性疾患、染色体異常、多発奇形症候群、骨系統疾患) や診断不明の方を対象にしています。また、遺伝性疾患等の次世代への影響などについての遺伝相談も受け付けます。
<b>生体防御系内科</b>		
免疫科 セカンドオピニオン外来	小野寺雅史 (医長)	易感染症等の免疫不全を対象としています。 また、遺伝子治療関係についての相談も受け付けます。
内分泌代謝領域 セカンドオピニオン外来	堀川玲子 (医長)	成長障害、性分化疾患、性成熟異常 (思春期早発症・遅発症)、副腎疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患等内分泌疾患全般、骨系統疾患、小児がん経験者の内分泌障害、糖尿病・低血糖症・糖尿病などの糖代謝異常、肥満症、高脂血症、高血圧、先天代謝異常症を対象にしています。
小児アレルギー セカンドオピニオン外来	大矢幸弘 (医長)	アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、気管支喘息、心因性喘息、乳児消化管アレルギー、慢性蕁麻疹、などの小児のアレルギー疾患全般のご相談に応じます。
消化管アレルギー セカンドオピニオン外来	野村伊知郎 (医師)	年齢は新生児から思春期まで、嘔吐、血便、下痢、体重増加不良などがあり、消化管の食物アレルギーが疑われる方を対象にしています。
脳神経腫瘍 セカンドオピニオン外来 (内科治療)	清谷知賀子 (医員) 森 鉄也 (医長)	脳神経腫瘍の化学療法等内科的治療に関する分野のご相談を受け付けます。 <ご希望があれば脳神経腫瘍セカンドオピニオン外来 (外科治療) と同時のご相談が可能です。外科治療については脳神経腫瘍セカンドオピニオン外来 (外科治療) をご覧ください。>
小児がん (固形腫瘍・ ホジキンリンパ腫) セカンドオピニオン外来	休診中	小児がんのうち神経芽腫、横紋筋肉腫などの固形腫瘍およびホジキンリンパ腫を対象にしています。

LCH（ランゲルハンス細胞組織球症） セカンドオピニオン外来	塩田曜子（医員）	ランゲルハンス細胞組織球症を対象にしています。
血液疾患 セカンドオピニオン外来	石黒 精（医長）	非腫瘍性血液疾患を対象にしています。
感染症 セカンドオピニオン外来	宮入烈（医長）	小児感染症領域（先天性感染症を含む）における各種感染症疾患の診断と治療に関するセカンドオピニオンを提供致します。

#### 臓器・運動器病態外科

上肢の先天異常 セカンドオピニオン外来	高山真一郎（部長）	上肢（肘・手）先天異常に関する治療（治療法の選択・時期など）についてのご相談をお受けいたします。
外傷（骨折）後遺障害 セカンドオピニオン外来	高山真一郎（部長） 関 敦仁（医長）	骨折や脱臼の後遺症の問題についてのご相談をお受けいたします。
小児外科一般 セカンドオピニオン外来	金森 豊（医長）	小児の一般外科に関するご質問にお答えいたします。その場での回答が困難な場合には院内カンファレンスを開催し、後日結果をお伝えする場合がございます。 小児外科疾患の手術や治療方針について相談を受け付けます。
小児がん セカンドオピニオン外来	金森 豊（医長）	神経芽細胞腫などを対象にして、固形腫瘍科、放射線科とともにセカンドオピニオン外来を行なっています。
小児呼吸器外科 セカンドオピニオン外来	金森 豊（医長）	嚢胞性肺疾患、気管狭窄などを対象にしています。また、治療方針や出生前診断例の取り扱いなどの相談も受け付けます。
胆道閉鎖症と妊娠 セカンドオピニオン外来	金森 豊（医長）	胆道閉鎖症術後で妊娠した方の管理などの相談を受け付けます。
消化管機能不全症 セカンドオピニオン外来	金森 豊（医長）	繰り返す下痢や腸炎などで低栄養になっている消化管機能不全についてのご相談を受け付けます。
血管腫リンパ管腫 セカンドオピニオン外来	藤野 明浩（医員）	難治性の血管腫・リンパ管腫のご相談を受け付けます。
もやもや病 セカンドオピニオン外来	荻原英樹（医員）	もやもや病の外科治療につきご相談を受け付けます。
脳神経腫瘍 セカンドオピニオン外来 （外科治療）	荻原英樹（医員）	各種脳腫瘍（髄芽腫、頭蓋咽頭腫、胚細胞種、上衣腫、星細胞腫等）、脊髄腫瘍のセカンドオピニオンを受け付けます。これまでの小児脳神経腫瘍症例の治療経験を生かし、腫瘍科（主に化学療法を担当）・放射線科等各科との協力により包括的な治療方針を提示致します。＜ご希望があれば脳神経腫瘍セカンドオピニオン外来（内科治療）と同時のご相談が可能です。内科治療（科学療法）については脳神経腫瘍セカンドオピニオン外来（内科治療）をご覧ください。＞
頭蓋縫合早期癒合症 セカンドオピニオン外来	金子 剛（医長） 師田信人（医長）	形成外科医と脳神経外科医が診察し、いただいた資料の範囲内で診断を行い、自然経過や治療法について説明いたします。（セカンドオピニオン外来の枠で行っていますが、原則的にはこれまで未治療の方を対象とします。）
手術などの先天性心疾患の治療法についての セカンドオピニオン外来	金子幸裕（医長）	先天性心疾患の手術を含む治療法について説明をいたします。必要に応じて、循環器科医の説明も受ける事ができます。
高次脳機能障害 セカンドオピニオン外来	橋本圭司（医長）	後天性脳損傷による高次脳機能障害の診断・治療・支援についての相談を受け付けます。

#### 感覚器・形態外科

小耳症 セカンドオピニオン外来	金子 剛（部長） 泰地秀信（医長）	形成外科医師と耳鼻咽喉科医師が診察し、治療法について両方の立場から説明をいたします。（セカンドオピニオン外来の枠で行っていますが、原則的にはこれまで未治療の方を対象とします。）
しみ・白斑 セカンドオピニオン外来	新関寛徳（医長）	生後まもなく生じた皮膚色の変化だけでなく、アトピー性皮膚炎の治療中や日焼け後のしみ、白斑など、生まれた後にでてきた皮膚色の変化についても相談を受け付けます。さらにどのような検査をうけたらよいかアドバイスを致します。

不正咬合、顎変形症 セカンドオピニオン外来	金田一純子（医長） 馬場祥行（医員）	受け口、出っ歯、八重歯、あるいは前歯でものが噛み切れない開咬など、歯並びや咬み合わせについて上顎と下顎の成長のアンバランスから生じる様々な問題点に対する診断や治療方法について相談を受け付けます。
--------------------------	-----------------------	---

#### こころの診療部

幼児期アスペルガー症候群 セカンドオピニオン外来	宮尾益知（医長）	発達障害と診断される子どもたちは増加し、行動の問題などがクローズアップされ社会問題化してきています。しかし、診断をなされても適切な治療方針を打ち出すことのできていないことが多いのが現状です。発達心理科のセカンドオピニオン外来では、診断の確定と適切な方向付けを行います。
-----------------------------	----------	--

#### 手術・集中診療部

集中治療科 セカンドオピニオン外来	中川聡（医長） 六車崇（医長） 又は医員	集中治療管理を必要とする重症の小児患者の診療について相談を受け付けます。
----------------------	----------------------------	--------------------------------------

#### 周産期診療部

周産期感染症に関する セカンドオピニオン外来	久保隆彦（医長）	風疹、サイトメガロウイルス、パルボウイルスなど妊娠とあらゆる感染症に関する相談を受け付けます。
流産、死産に関する セカンドオピニオン外来	久保隆彦（医長）	前回妊娠が流産、死産で妊娠に対する不安、すでに妊娠した場合の不安に関する相談をお受けいたします。
新生児科 セカンドオピニオン外来	伊藤裕司（医長） 中村知夫（医長）	新生児期の一般的な疾病及び合併症疾患全般についてのご相談を受け付けます。
産科麻酔 セカンドオピニオン外来	角倉弘行（医長）	帝王切開のための麻酔法や、経膈分娩の際の無痛分娩に関する相談にお答えします。

#### 母性医療診療部

甲状腺疾患合併妊娠 セカンドオピニオン外来	荒田尚子（医長）	バセドウ病、慢性甲状腺炎などをもつ女性の妊娠について相談を受け付けます。
糖尿病合併妊娠 セカンドオピニオン外来	荒田尚子（医長）	糖尿病を持つ女性の妊娠について相談を受け付けます。
難治性不妊症 セカンドオピニオン外来	齊藤英和（医長）	他の施設で治療を繰り返していても、妊娠に至らない方の相談を受け付けます。 女性総合外来へ⇒
婦人科（女性診療科） セカンドオピニオン	藤井絵里子（医長）	①産婦人科の各領域(産科・生殖・婦人科疾患)に関わる複合的な問題に対するセカンドオピニオン：具体的には子宮筋腫、内膜症、月経異常などの婦人科疾患と挙児希望など。②若年者における月経関連疾患(不順、PMSなど)や女性生殖器官の成長成熟過程における婦人科疾患（卵巣腫瘍、感染症）など。 女性総合外来へ⇒

#### 放射線診療部

小児がん放射線治療 セカンドオピニオン外来	正木英一（部長）	小児がん全般について相談を受け付けます。
--------------------------	----------	----------------------

#### 臨床検査部（高度先進検査室）

先天代謝異常症 セカンドオピニオン外来 （ライソゾーム病など）	奥山虎之（部長）	ライソゾーム病、バルオキシソーム病などの先天代謝異常症の診断および治療について相談を受け付けます。 ライソゾーム病センターへ⇒
---------------------------------------	----------	--

#### 病理診断部

病理診断科 セカンドオピニオン外来	中澤温子（部長）	小児、周産期疾患の病理診断についての相談を受けます。 病理セカンドオピニオン案内へ⇒
----------------------	----------	---

#### 臓器移植

肝疾患・肝不全 セカンドオピニオン外来	笠原群生（センター長） 阪本靖介（医長） 垣内俊彦（医員）	胆道閉鎖、代謝性肝疾患、劇症肝炎を対象にしています。
肝移植・臓器移植 セカンドオピニオン	笠原群生（センター長） 阪本靖介（医長）	各種臓器移植後の合併症、免疫抑制剤管理の相談を受け付けます。